

つないでどうするSIP4D ～利活用のために必要なこと～ 討論会のまとめ

国立研究開発法人防災科学技術研究所
総合防災情報センター
花島誠人

討論会のポイント

- 基礎自治体の負担を軽減するために防災情報システムはどうあるべきか
 - 大きな被害が出ている地域ほど、データ入力の負担が大きくなる
 - ▶初動時の情報収集の自動化
 - ▶基礎自治体から情報を収集したら、現場にフィードバックする必要がある
 - 「ざっくり把握すること」を許容する情報収集方法、体制、システムが重要
 - ▶発災直後、全容が掴めない状況下…『戦場の霧』の中での情報収集のあり方
 - ▶まず県が「ざっくり」の意義を認識することが必要
 - ▶初動時のタイムラグを短縮する
 - ▶時間軸にあわせてかえてゆくことが必要
 - 起きた事象の確認はどうしても必要→被害情報のトリアージを自動化できるか
 - デジタルデータもとづいて行政の仕事の仕方を変えていくことが求められている
- デジタルツインは防災にとって必要か
 - 発災する前に使うならアリ
 - ▶実際の街を再現したメタバース上でシミュレーションモデルを動かして事前対策や訓練に使う…など